

II-6

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	「過ぎ去ろうとしない過去」—歴史を現在にいかにか活かすか? ドイツ編		
担当者	辻 英史/西城戸 誠		
実施時期	2019年3月3日(日)～15日(金)予定	日程	12泊13日
実施場所	ドイツ連邦共和国		
協力機関	ベルリン州政治教育センター、ブーヘンヴァルト収容所記念館、ミュンヘン・ナチス・ドキュメントセンター、ミュンヘン大学日本語学科		
募集人員	15人		
学習目的	地域社会は、その歴史遺産をどのように活用しているのか? 現在、歴史を活用した地域振興やまちづくりが各地で盛んにおこなわれている。歴史上の著名な人物や重大事件、建築物は、その街の魅力を外に向かって発信することに、いかに貢献しているのか。歴史を通じて郷土愛やナショナル・アイデンティティはどのように作り上げられていくのだろうか。これらの課題にドイツはどのように取り組んできたのかを学ぶ。		
行程	3日(日) 日本出発、ベルリン到着 4日(月) ベルリン州政治教育センター/ホロコースト記念碑 5日(火) フンボルト・フォーラム 6日(水) 抵抗運動記念館、ベルリンの壁公園など 7日(木) ヴィッテンベルク旧市街 8日(金) デッサウ市、キュフホイザー記念碑 9日(土) ヴァイマル旧市街 10日(日) ブーヘンヴァルト強制収容所記念館にてワークショップ 11日(月) ニュルンベルク旧市街、国際軍事法廷記念館 12日(火) ミュンヘン・ナチス・ドキュメントセンター 13日(水) ミュンヘン大学にて同大日本語学科と合同ワークショップ 14日(木) ミュンヘン発 15日(金) 日本帰国 ※変更の可能性あり		
宿泊場所	住所〒	施設名	訪問先のホテルおよびユースホステルを利用 TEL
費用	約 250,000円(航空運賃、宿泊・朝食費、ドイツ国内移動費、訪問施設入場料・ガイド通訳料などを含む。)このほか、日本国内の空港までの往復費用、期間中昼食と夕食の費用がかかります。※海外FS奨励金制度があります。		
事前・事後学習の予定	事前学習: 秋学期水曜6限に10回程度実施する予定。 事後学習: 帰国後2019年3月末～4月初めに1回開催。		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)本コースはI期に開催される長崎FSと内容的に関連しています。本コース参加希望者は同コースにも参加することを推奨します。		
選考基準	志望理由書のほか面接を実施します。		
評価方法	終了後レポート提出。		